

学校教育目標
かがやけ篠三っ子
 かんがえる子
 がんばる子
 やさしい子
 けんこうな子

○東京都教育ビジョン
 (第4次)
 ○江戸川区教育目標
 『こころ豊かにたくましく
 教育の江戸川区』

○学校経営方針
 社会性と国際的な視野
 をもつ児童の育成

伝統と文化を尊重し、人
 間性豊かな実践力のある
 児童の育成

教師の願い

○学ぶ楽しさを知ってほしい。自ら考える力を
 身に付けさせたい。
 ○互いに学び合い、認め合う態度を育てたい。

児童の実態

○学習しようとする意欲は高いが、自ら学ぶ習
 慣が十分身に付いていない。
 ○自分の考えに自信がもてなかったり、深まっ
 ていなかったりして、すすんで発言ができない。

研究主題

自ら考え、学び合う児童の育成
 ～プログラミング的思考力を育成するための授業作り～

目指す児童像

低学年	自分の思いをもち、相手の思いを受け止めて伝え合うことができる児童
中学年	自分の思いや考えをもち、互いを尊重し、伝え合うことができる児童
高学年	自分の思いや考えをもち、すすんで伝え合うことができる児童
専科	自分の思いや考えをもち、表現することを楽しむことができる児童
はこべ	自分の思いをもち、目的に合った表現ができる児童

研究仮説

各教科において、プログラミング的思考の要素概念を意識した授業を実践することによって、児童の論理的思考力や表現力を高められ、すすんで学ぶ姿勢をつくることができるようになるだろう。

主題に迫る手立て

- アンプラグドを中心とし、今までの授業の流れは大きく変えない。
- 思考ツールを活用し、思考を整理する。
- 適宜、タブレットなどのICTを活用する。

- ・実践と理論の統合を目指して → 年5回の校内研究授業と3回の研究全体会
- ・協議会の工夫 → 個人で意見を出しやすくするために、話し合いたいテーマについて小グループで話し合い、解決策を探る。